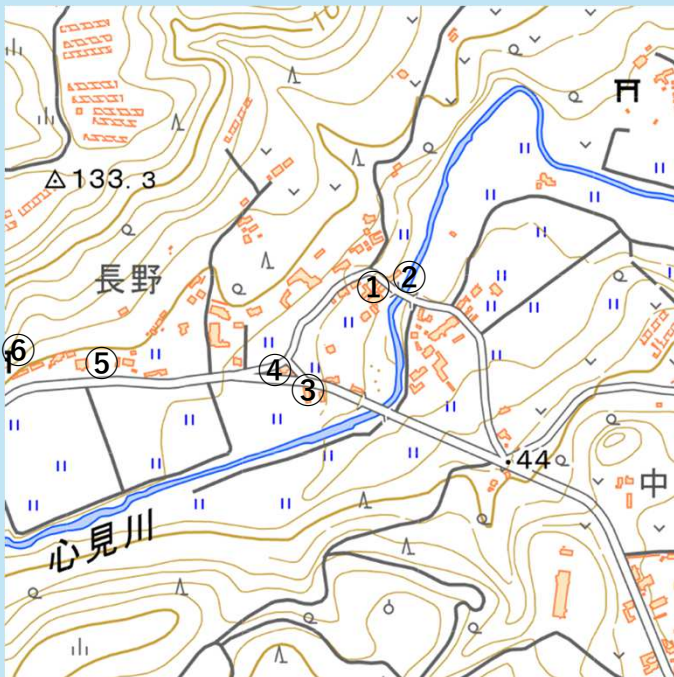




①長野公民館



長野地区の公民館。長野地区の人々が一堂に会し、雑談や食事を楽しむ「れんげ食堂」が2023年から行われており、幅広い年代の人々が交流している。

Youtubeチャンネル「SHAKYO CHANNEL-都農社協-」を開設しており、こどもカフェ「どんげね」やれんげの会総会などさまざまな活動を投稿している。

野球チームの練習を終えた子どもたちが昼食を食べるとともに老人会の方々と和気あいあいと談笑していた。（大野）

②公民館 横の長野橋



川の幅が狭かったので水量が多い日は流れが速く、危険なのではないかと思った。また、公民館の横を流れており、川につながる崖のところに、柵などがなかったため、公民館に遊びに来た子供たちが川に落ちてしまう危険性がある。川の横に生えている木も生い茂っていて、定期的に切らなければ、川で異変が起こった時にも気づくのが遅くなる恐れがある。

（西）

③都農町コミュニティバス停留所



都農町コミュニティバス停留所

1回200円で都農町のバス停留所があるところに行くことができる。

土日祝日は運休。

この地域には高齢者が多いため、自動車を運転しなくても移動できるように配慮されている。

停留所があるところならどこにでも200円で、追加料金なしで行けるため、経済面でも良心的である。（井上）

まとめ

今回の実習では、グループのメンバー全員にとって訪れたことのない地域での実習でしたが、目的地への道中や公民館で様々な人たちと話す機会があり、その交流と私たち自身で実際に都農町を歩くことでインターネットで調べたものとは違うような体験をすることができた。町の人たちは皆さん親切で貴重なお話を聞くことができ、地域の繋がりをとても大切にされているのだということが伝わってきた。これはとても良い経験になったと思う。そこでいろいろな話を聞いて、「自分たちが普段暮らしている地域とは時間の流れ方が違う」と感じた。私たちが訪れた長野地域では農業が生活の基盤であり、農業を中心としたライフスタイルが確立されていた。初めて訪れた地域で人々と交流し、自分たちとの相違点を見つけることはとても面白いと感じた。

しかし、農業の跡取り不足や過疎化が深刻化していることを心配する声も多かった。なのでこれらの良さを生かしつつ、改善策を打ち出す必要があると感じた。

④コスモス畑と特徴的なかかし



私たちが訪れたときは見る事ができなかったが、コスモスが咲く時期である秋には雄大なコスモス畑に、思わず目を惹かれるような特徴的な30体を超えるかかしがたくさん置かれるかかし祭りが自治体を主体として開催されているそうだ。

このことは現地の方から教えていただき、また写真をいただくことができた。（萬徳）

⑤土砂災害警戒の看板



この看板には、「この周辺はがけ崩れが発生する恐れがありますので、大雨の時は、十分注意して下さい。」と書かれている。

この看板があるすぐ近くには、民家が6軒ほどあり、その裏には竹林を含む標高133.2mほどの山がある。民家のすぐ裏に山があることと、竹林は大雨や地震によって崩れやすい場合があるため、非常に注意が必要であると思った。また民家がある場所は、指定緊急避難場所から少し離れた場所にあるため避難するには時間がかかり危険なのではないかと考える。（太田）

⑥八坂菅原神社



私たちのフィールドワーク範囲の隅にあった神社。

決して大きな神社ではなかったが、私たちは現地の方にこの神社への道を教えていただくことができ、現地の方々にとっては大切な存在である神社なのだと感じる事ができた。（萬徳）